

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
麻生外語観光&製菓専門学校	平成3年1月8日	竹口 伸一郎	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 03-6734-2939																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
商業実務	商業実務専門課程	エアポート科	平成22年文部科学大臣告示第31号	-																			
学科の目的	空港施設での業務に必要とされる専門知識、専門資格、技能を備え、即戦力として通用する人材の育成を目的とする。																						
認定年月日	平成26年3月31日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	2045時間	1530時間	0時間	320時間	0時間	195時間																
単位時間																							
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
60人	33人	0人	2人	8人	10人																		
学期制度	■前期:4月1日~8月31日 ■後期:9月1日~3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度確認テスト等の総合評価																			
長期休み	■夏季:8月8日~9月11日 ■冬季:12月24日~1月10日 ■春季:3月14日~4月3日		卒業・進級条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ガイダンスの実施。学科責任者との面談、三者面談の実施。		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)																			
就職等の状況	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) 航空業界(主に航空機地上支援業務)		主な学修成果(資格・検定等) <small>※3</small>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般社団法人 航空貨物運送協会主催 IATA デイフロマ 基礎コース</td> <td>③</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人 航空貨物運送協会主催 IATA デイフロマ 危険物コース</td> <td>③</td> <td>20</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>公益財団法人 日本無線協会主催 第三級陸上特殊無線技士</td> <td>③</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	一般社団法人 航空貨物運送協会主催 IATA デイフロマ 基礎コース	③	20	20	一般社団法人 航空貨物運送協会主催 IATA デイフロマ 危険物コース	③	20	7	公益財団法人 日本無線協会主催 第三級陸上特殊無線技士	③	20	20
	資格・検定名	種		受験者数	合格者数																		
	一般社団法人 航空貨物運送協会主催 IATA デイフロマ 基礎コース	③		20	20																		
	一般社団法人 航空貨物運送協会主催 IATA デイフロマ 危険物コース	③		20	7																		
公益財団法人 日本無線協会主催 第三級陸上特殊無線技士	③	20	20																				
■就職指導内容 希望する業界(企業)と個々の適正を見定め、指導、助言を与える。																							
■卒業者数: 20 人 ■就職希望者数: 20 人 ■就職者数: 20 人 ■就職率: 100 % ■卒業者に占める就職者の割合: 100 %																							
■その他 ・進学者数: 0人 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報)																							
中途退学の現状	■中途退学者 2 名 ■中退率 5.4 % 平成28年4月1日時点において、在学者37名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者35名(平成29年3月31日卒業生を含む)																						
■中途退学の主な理由 進路変更による退学、経済的理由による学業継続困難等																							
■中退防止・中退者支援のための取組 担任による定期ガイダンスや三者面談の実施、定期的な状況報告等																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 東日本大震災により被災した進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																						
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.asojuku.ac.jp/aftc/subject/airport/">http://www.asojuku.ac.jp/aftc/subject/airport/</a>																						

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。  
 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの  
 ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの  
 ③その他(民間検定等)

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業連携により実践的かつ専門的な職業教育を実施することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生に対する「お客様アンケート」結果と教育課程編成委員会との意見交換により、企業視点を軸としてグローバル社会において必要とされる知識・技能の修得を目指す。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。

委員会は、次の事項を審議し、会議の結果をカイキュラム会議に報告するものとする。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

主任が主催するカリキュラム会議において、教育課程編成委員会からの報告内容を参考にして学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平29年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表	H29/4/1～H30/3/31	①
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 ラインハンドリング3課 マネージャー	H29/4/1～H30/3/31	③
三笥 秀一郎	麻生外語観光&製菓専門学校 副主任	H29/4/1～H30/3/31	
原 直弘	麻生外語観光&製菓専門学校 専任教員	H29/4/1～H30/3/31	
瀧口 恵子	麻生外語観光&製菓専門学校 専任教員	H29/4/1～H30/3/31	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間開催数)

年2回(6月・10月)

(開催時期)

第1回 平成28年 6月23日 17:10～17:30

第2回 平成28年10月20日 16:50～17:30

第1回 平成29年 6月21日 17:10～17:30

第2回 平成29年10月18日 16:50～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

航空業界に携る人材として、専門知識や技術は勿論のこと、グローバル化に伴い語学力における必要性は高まってきているため、専門性と語学力、そして自ら考え行動できる人材育成の依頼を受け、実務経験者による授業の導入や語学科目の授業時間数・カリキュラムの見直しを行っている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践の機会である空港実習を設定することで職業像と必要適性を明確にし、各自の具体的なキャリアプランを構築する。実務経験、指導・評価を受けることにより学内での学習との相乗効果を図る。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

授業科目の担当教員と連携している企業で、事前に実習内容を協議し、実習内容の詳細について決定するとともに、生徒の学修成果の評価指導について定める。し、航空業界において必要な知識や技術を修得できるよう、貨物・手荷物仕分け、搭載補助等を空港内にて実施し、修得の進捗は学生が専用の実習ノートを記載し、成果を記録する。この記録を継続することで具体的な実習の成果を認識することができ、最終評価として実習先企業による実習担当者が学生の評価票を作成し、担当教員が成績評価を行う

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
企業インターンシップ	実際に空港で主に貨物分野における業務に携り、知識や技能を身につけ、社会人としての意識を定着させる。	ANA福岡空港株式会社 株式会社エーエスオー 平野運輸株式会社
エアクラフト	航空機の構造をはじめ、業務に関わる機材・操作等に関するの基本知識を修得させる。	株式会社エーエスオー

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界就職に求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映さえ、さらに即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規定」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。定期的な企業からのヒアリングや航空各社の企業説明会に参加し情報収集することにより、航空業界の現状を常に把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: アマデウスシステム講師育成トレーニング

講師: 門 謙次

目的: 業界のニーズにより近づけるため、アマデウスシステムの講師を育成し、学生へ授業を展開できる体制を整える(科目担当教員対象)

内容: アマデウスGDSでの予約作成・管理、運賃計算等を学び、それらを学生へ指導するスキルを習得する。

日程: 平成28年3月14日～3月18日(5日間)

主催: 株式会社アマデウス・ジャパン

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: インプレッショントレーニング

講師: 重太みゆき(印象行動学者)

内容: サービス業における顧客対応スキルの向上についての学生指導法

対象: 新任・中堅教員

日程: 平成29年2月11日

研修名: インストラクショナルデザイン研修

講師: 岡村 慎一氏(専門学校YICグループ)

目的: インストラクショナルデザインを用いた体系的なカリキュラム、シラバスの開発方法を習得する。

内容: インストラクショナルデザインの概要、学習目標の明確化、効果測定と評価。

日程: 平成29年2月16日 9:00～17:30

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: アマデウスシステム講師育成トレーニング

講師: 福島 カ也

目的: 最新の情報を取り入れ、担当教員のレベルアップおよび知識の更新を図る(科目担当教員対象)

日程: 平成30年2月2日

主催: 株式会社アマデウス・ジャパン

内容: アマデウスGDSのインストラクターフォローアップ研修

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: カウンセリングⅠ

講師: 廣田 哲成氏(日本交流分析協会 准教授)

内容: 学生への話し方、面談の仕方、指導の仕方の基本的なルール、注意点を学ぶ。

日程: 平成29年5月17日 16:00～17:30

研修名: カウンセリングⅡ

講師: 廣田 哲成氏(日本交流分析協会 准教授)

内容: ロールプレイングによるケーススタディで、個別面談の仕方を学ぶ。

日程: 平成29年5月24日 16:00～17:30

5月25日 16:00～17:30

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正に行なわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりを行なう。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5) 学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	ADの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11) 国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

教育の内容について、検討見直しが随時実施され実践的なカリキュラム作成の取り組みに評価をいただく。今後はグランドハンドリング業務の変化に対応するため、実習後の学生から学びたいに知識・技術のヒアリングや、学外での企業との意見交換会を定期的実施し、カリキュラムだけでなく、シラバスなど授業内容への反映を取り入れていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
村山 聖子	平成28年度入学ブライダル・ウエディング科2年生 保護者	H28/4/1～H30/3/31	保護者
堀部 豊和	平成23年度 卒業生	H29/4/1～H31/3/31	卒業生
高島 妙美	平成21年度 卒業生	H29/4/1～H31/3/31	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	H29/4/1～H31/3/31	自治会長

甲斐 直樹	福岡県立直方高等学校	H29/4/1～H31/3/31	校長
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表	H29/4/1～H31/3/31	団体
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	H28/4/1～H30/3/31	団体
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	H29/4/1～H31/3/31	団体
加藤 博志	九州B.M.C.会長	H29/4/1～H31/3/31	団体
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長	H29/4/1～H31/3/31	団体
長 加奈子	福岡大学 准教授	H28/4/1～H30/3/31	教育機関
松永 陽子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス課 マネージャー	H29/4/1～H31/3/31	企業
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 グランドサービス部 ラインハンドリング課3課 マネージャー	H29/4/1～H31/3/31	企業
小林 俊裕	日本通運株式会社 福岡支店九州グローバルロジスティクス企画 次長	H29/4/1～H31/3/31	企業
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任	H29/4/1～H31/3/31	企業
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長	H29/4/1～H31/3/31	企業
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長－人材開発担当	H28/4/1～H30/3/31	企業
大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長	H28/4/1～H30/3/31	企業
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	H28/4/1～H30/3/31	企業
藤田 敦子	ロイヤルホールディング株式会社 人事課長	H29/4/1～H31/3/31	企業
安藤 大介	高見株式会社 九州営業部 部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部	H28/4/1～H30/3/31	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ 毎年9月 )

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/disclosure/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校法人の沿革、教育の目標、学則、諸規程
(2)各学科等の教育	学科の教育方針、年次別目標、目標資格、カリキュラム、進級・卒業要件、他
(3)教職員	教員一覧、専任・兼任教員数

(4) キャリア教育・実践的職業教育	グローバルシティズンベーシック、インターンシップ、教育課程編成委員会
(5) 様々な教育活動・教育環境	学園祭、ボランティア活動、クラブ活動
(6) 学生の生活支援	臨床心理士による学生相談室、ハラスメント相談、留学生支援、障がい者支援
(7) 学生納付金・修学支援	金額・納付時期、分割納入制度、授業料減免、奨学金、被災地支援
(8) 学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生専用学生寮
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

パンフレット、募集要項、学生便覧、Webサイト

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/aftc/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 エアポート科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			IATA <sup>®</sup> <sup>イ</sup> <sup>ア</sup> <sup>ポ</sup> <sup>ー</sup> <sup>ト</sup> 基礎	国際航空貨物取扱士（基礎コース）PAPER I 対策	1前	45	3	○			○			○	
○			IATA <sup>®</sup> <sup>イ</sup> <sup>ア</sup> <sup>ポ</sup> <sup>ー</sup> <sup>ト</sup> 応用	国際航空貨物取扱士（基礎コース）PAPER I 対策	1前	60	4	○			○			○	
○			IATA <sup>®</sup> <sup>イ</sup> <sup>ア</sup> <sup>ポ</sup> <sup>ー</sup> <sup>ト</sup> 試験対策	国際航空貨物取扱士（基礎コース）受験のための直前対策	1後	15	1	○			○			○	
○			IATA <sup>®</sup> <sup>イ</sup> <sup>ア</sup> <sup>ポ</sup> <sup>ー</sup> <sup>ト</sup> 危険物	IATA <sup>®</sup> <sup>イ</sup> <sup>ア</sup> <sup>ポ</sup> <sup>ー</sup> <sup>ト</sup> （危険物コース）対策授業	1後	90	6	○			○			○	
○			航空概論	航空業界の様々な職種を説明し、各々の部署が協力し業務が完結していることを理解させる。	1前	15	1	○			○			○	
○			陸上特殊無線	地上支援業務に必要な資格である第三級陸上特殊無線技士を取得させるため、受験に必要な知識を修得する。	1後	45	3	○			○			○	
○			実用英語 I A	英検準2級・2級対策	1前	60	4	○			○			○	
○			実用英語 I B	航空業界で受験が義務付けられつつあるTOEICの高スコア獲得を目指す。	1後	30	2	○			○			○	
○			国内地理	国内主要都市・空港をメインに地理や歴史の角度から学ぶ	1前	30	2	○			○			○	
○			空港実務 I A	航空機輸送に伴い、暗算教育並びに、危険物取扱い等に関する教育を実施。国内空港の3レター、航空会社3レター、2レター、貨物品目コード、DGRコード、航空機の種類他	1前	15	1	○			○			○	
○			空港実務 I B	航空機輸送に伴い、暗算教育並びに、危険物取扱い等に関する教育を実施。国内空港の3レター、航空会社3レター、2レター、貨物品目コード、DGRコード、航空機の種類他	1後	30	2	○			○			○	

		○	国内研修旅行	大規模空港を視察し機側における実務を見学することにより、就職目標を見定める。	1 後	30	2					○		○	○			
○			一般教養 I A	国語、数学、社会（時事）、英語を総合的に学習し、入社試験に対応できる基礎力の強化を図る。	1 前	30	2	○					○		○			
○			一般教養 I B	国語、数学、社会（時事）、英語を総合的に学習し、入社試験に対応できる基礎力の強化を図る。	1 後	30	2	○					○		○			
○			コミュニケーション技法	人前で話す、人の話を聞く、人と会話するといったコミュニケーションの効果的な方法を実戦形式で学び身につける。	1 後	30	2	○					○				○	
○			ビジネス実務A	実社会で必要とされるビジネスマナーを修得する	1 前	30	2	○					○				○	
○			ビジネス実務B	実社会で必要とされるビジネスマナーを修得する	1 後	30	2	○					○				○	
○			Excel	グラフや表作成方法を学び、Excel検定3級の取得を目指す	1 後	45	3					○	○				○	
○			Word	ビジネス文書作成方法を学び、Word検定3級の取得を目指す	1 前	60	4					○	○				○	
○			ペン字	履歴書作成からビジネス文書まで、ペン字の基礎を修得する	1 後	30	2					○	○				○	
○			GCB I	感謝と思いやりの教育	1 前	15	1	○					○		○			
○			企業インターンシップ	実施に空港で業務に携り知識や技能を身につけ、社会人としての意識の定着を図る	1 後	320	6						○		○		○	○
○			S P I I	入社試験（SPI）対策授業	1 後	15	1	○					○		○			
○			社会教養 I A	就職に対しての意識付け	1 前	30	2	○					○		○			
○			社会教養 I B	身だしなみや履歴書作成の就職試験対策	1 後	60	4	○					○		○			
○			エアクラフト	航空機に関する基本を学ぶ	1 後	15	1	○					○		○		○	



○		航空貨物演習	航空貨物の取扱い業務全般について学ぶ	2前	30	2	○				○	○		
○		空港実務ⅡA	航空機輸送に伴い、安全教育並びに危険物取扱い等に関する教育を実施。安全を堅持するためには何が必要かを理解し修得する	2前	30	2	○				○	○		
○		空港実務ⅡB	航空機輸送に伴い、安全教育並びに危険物取扱い等に関する教育を実施。安全を堅持するためには何が必要かを理解し修得する	2後	30	2	○				○	○		
○		一般教養ⅡA	国語、数学、社会（時事）、英語を総合的に学習し、入社試験に対応できる応用力の強化を図る。	2前	30	2	○				○	○		
○		一般教養ⅡB	国語、数学、社会（時事）、英語を総合的に学習し、入社試験に対応できる応用力の強化を図る。	2後	15	1	○				○	○		
○		社会教養ⅡA	就職に向けての準備をはじめ、社会人として必要な常識やマナーを修得する	2前	60	4	○				○	○		
○		社会教養ⅡB	就職に向けての準備をはじめ、社会人として必要な常識やマナーを修得する	2後	30	2	○				○	○		
○		航空品質管理Ⅰ	安全運航に関する知識の修得	1後	15	1	○				○	○		
○		航空品質管理Ⅱ	安全運航に関する知識の修得	2前	30	2	○				○	○		
○		フィットネスクラブ A	体力の維持と増進とともに、行動力と協調性を養う	2前	30	2					○	○	○	
○		フィットネスクラブ B	体力の維持と増進とともに、行動力と協調性を養う	2後	30	2					○	○	○	
○		海外地理	海外主要都市と空港をメインに地理や歴史の角度から学ぶ	2前	30	2	○				○	○		
○		業界総合演習	安全品質・定時制の向上、コスト意識等について学ぶ	2後	90	6	○				○	○		
○		卒業研究	2年間で学んだ航空業界に於ける知識を基に、それぞれのテーマに沿った研究を行い、理解を深める	2後	60	4	○				○	○		
○		SPIⅡ	入社試験（SPI）対策	2前	60	4	○				○	○		

○		ビジネスマナー演習A	社会人基礎力の要請	2前	30	2	○			○		○
○		ビジネスマナー演習B	社会人基礎力の要請	2後	30	2	○			○		○
○		GCB II	志の教育	2前	15	1	○			○		○
○		WINDOWS演習	パワーポイント作成の基礎を学ぶ	2後	30	2	○			○		○
○		AMADEUS	航空券の予約・発券の技能を身につけ、資格取得を目指す。	2前	45	3	○			○		○
○		実用英語ⅡA	実用英語検定準2級と2級の取得を目指す	2前	60	4	○			○		○
○		実用英語ⅡB	実用英語検定準2級と2級の取得を目指す	2後	60	4	○			○		○
○		サービス介助	サービス介助の知識を実践を交えながら学ぶ	2前	30	2	○			○		○
合計			48科目	2045単位時間(				121 単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週